

森の川自然散歩

2019年1月

正月特別号

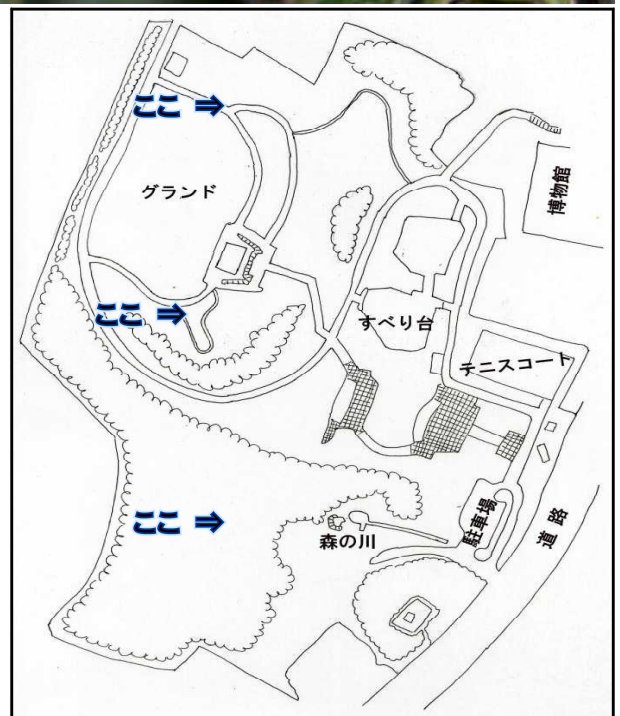


冬でも元気なお騒がせ鳥だよ

上：ヤブニッケイの藪の中で休むヒヨドリ。

ヒヨドリ（メモ）▶▶▶

- 沖縄では、誰もが知っている有名な鳥です。その割には人気は今ひとつというところですが、森の中や周りを「ピピピピー」と騒がしく鳴いて飛び回っています。
- 方言では、一般的には「スーサー」と呼ばれることが多いです。宜野湾でも「スーサー」で呼ぶところが多いです。ところが、名護などの沖縄島北部では「ピーサー」と呼ばれたり、八重山地域では「ピース」と呼ばれることもあるようです。
- 全長(頭から尻尾まで)が28cmくらいです。小型の鳥としては標準的な大きさであることから、物差し鳥(鳥の大きさを比べる時の基準になる鳥)のひとつにもなっています。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(24) お久し振り？ リュウゼツランの花

うっかりしていました。というのも、森川公園にリュウゼツランが生えていることをまったく忘れていたからです。つい先日、公園の上の広場を散歩していて、基地のフェンス沿いにリュウゼツランが1本だけあることに気がつきました。何気なく見上げると、空を突き上げるように花がついていました。

リュウゼツランの花は、高い花茎を出し、ダイナミックに咲きます。でも毎年咲かせるわけではありません。理由はよく分からないのですが、3年周期とか10年周期とか、いろいろいわれます。森川公園のリュウゼツランが、前に花をつけていたのが、いつのことかは分かりませんが、多分久し振りのことかと思えます。この次花を咲かすのは、いつになるのでしょうか。もしかして、来年も咲いたりして？

右：上の広場で花を咲かすリュウゼツラン。



森川公園1月の花ごよみ

名前はもう春 ～ハルノノゲシ～

- 森川公園を散歩しながら、園路沿いの空き地や樹木の下などを見てみると、背の低い草ばなに混じって、高さが30～50cmの一段と背の高いハルノノゲシを見つけることができます。
- 沖縄島で普通に見られる、いわゆる雑草です。でも今頃から冬の寒さに負けず、淡い黄色の花を咲かせていきます。
- 森川公園では、展望台下の遊歩道沿い、すべり台側、入口からあがる園路のアコウの根元などに生えています。
- 同じ黄色の花を咲かすオニタビラコに比べると、身長の高いお姉さん、という感じでしょうか。

上：薄黄色の花を咲かすハルノノゲシ。

冬を楽しむ生きものたち

○冬の寒い日でも、亜熱帯の沖縄ではいろいろな草花を見ることができます。オニタビラコやアメリカハマグルマの黄色を中心に、紫やピンクの花々がいっぱいです。ほとんどが小さな植物たちです。少しかがんで見てね。



上：オニタビラコ



上：アメリカハマグルマ



上：ノアサガオ



上：ランタナ



上：ムラサキカタバミ

冬を楽しむ生きものたち～その2

○冬の寒い日でも、日差しの暖かい日には、様々な虫たちも活動しています。草むらをはうように飛び回るヤマトシジミをはじめとして、チョウたちはその代表選手です。



上：ヤマトシジミ



上：キチョウ



上：タテハモドキ



上：ミツバチ



上：ツマグロヒョウモン



上：ホシスジオニグモ

博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

